

分析レポート

生活者の自由時間の使い方を把握する

研究員 宮崎 達郎

【概要】

本レポートでは2016年の総務省統計局の社会生活基本調査のデータから、生活者の自由時間における主な活動の「行動者率」を把握した。主な結論は下記の3点である。

- 1) 「学習・自己啓発・訓練」「スポーツ」「趣味・娯楽」「旅行・行楽」といった活動は若い世代ほど行動者率が高い。
- 2) 「学習・自己啓発・訓練」に関する活動では男女で行動者率に大きな違いがある。
- 3) 「ボランティア活動」では、まちづくりのための活動や子供を対象とした活動の行動者率が高い。

1. 社会生活基本調査について

今回のレポートも前回に引き続き、総務省統計局の社会生活基本調査のデータを使用する。本レポートでは2016年の調査のデータを用いて、生活者の自由時間における主な活動の「行動者率」を把握する。ここでの行動者率は、2015年10月20日～2016年10月19日の1年間の間に該当する活動を行った人の割合を示す。

生活者の自由時間における主な活動の状況を把握することは、生協が行う組合員活動を企画する上で、基礎的な情報になると考えられる。特に、もともと生活者の関心や意欲が高く、参加しやすい活動の特徴を把握することは、組合員活動の入口となるような活動を企画する上で重要なヒントになるだろう。

社会生活基本調査では自由時間等における主な活動を「学習・自己啓発・訓練」「スポーツ」「趣味・娯楽」「ボランティア活動」「旅行・行楽」の5つに大きく分類しており、それらの項目には具体的に図表1に示したような活動が含まれる。

図表1 社会生活基本調査における「自由時間等における主な活動」の分類

学習・自己啓発・訓練	外国語（英語・英語以外）、商業実務・ビジネス関係、介護関係、家政・家事、人文・社会・自然科学、芸術・文化、その他
スポーツ	野球、ソフトボール、バレーボール、バスケットボール、サッカー、ゴルフ、ジョギング・マラソン、柔道、剣道、ウォーキングなどの22項目
趣味・娯楽	スポーツ観戦、美術鑑賞、演芸・演劇・舞踊鑑賞、映画館での映画鑑賞、邦舞・おどり、書道、園芸・庭いじり・ガーデニングなどの34項目
ボランティア活動	健康や医療サービスに関係した活動、高齢者を対象とした活動、障害者を対象とした活動、スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動などの11項目
旅行・行楽	行楽（日帰り）、旅行（1泊2日以上） 旅行については国内・海外別、観光・帰省などの目的別に集計

2. 年代・男女別の行動者率

図表1の各分類ごとに、その分類に含まれる何らかの活動を1つでも行った人の割合を、年代・男女別に示したものが図表2である。

「学習・自己啓発・訓練」「スポーツ」「趣味・娯楽」「旅行・行楽」は若い世代ほど行動者率が高い傾向にある。ただし、そこまで極端な傾向ではなく、例えばスポーツでは70代まで、男性は行動者率が70%を超えており、女性も60%を超えている。「ボランティア活動」の行動者率は男性では70代が最も高く、女性では40代が最も高い。また、いずれの活動でも共通して80代以上の行動者率は落ち込む傾向にある。男女別という視点では、「スポーツ」は男性が高く、「旅行・行楽」は女性が高いという傾向が見られた。

図表2 年代・男女別 行動者率

単位：%	学習・自己啓発 ・訓練		スポーツ		趣味・娯楽		ボランティア 活動		旅行・行楽	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
20代	49.3	49.4	78.3	69.9	93.3	94.7	16.7	17.7	75.5	87.1
30代	39.1	39.8	74.2	67.8	90.6	93.9	20.6	27.2	77.2	87.1
40代	34.1	35.6	72.7	66.8	89.8	91.8	26.1	37.5	74.0	81.4
50代	35.7	38.6	70.8	64.3	87.8	89.4	28.8	29.8	71.5	79.3
60代	32.5	35.9	71.4	66.6	84.9	86.1	29.8	28.8	69.1	75.9
70代	30.2	30.3	70.7	60.1	79.5	78.0	30.9	25.9	64.6	64.8
80代以上	21.2	15.8	50.9	35.3	65.4	59.7	20.9	12.3	44.0	40.2

3. 各分類で男女別に最も行動者率が高かった活動

1) 学習・自己啓発・訓練

男性で最も行動者率が高かったのは「商業実務・ビジネス関係」の活動である(図表3)。この活動にはパソコンなどの情報処理も含まれる。次点は「外国語」と、仕事に直結する活動が好まれている。女性で最も行動者率が高かったのは「家政・家事」である(図表4)。この活動には、料理・裁縫・家庭経営などに関連した活動が含まれる。次点は「芸術・文化」であり、男女で明確に傾向が分かれる結果となった。

2) スポーツ

男女で行動者率の上位1・2位が共通しており、1位は「ウォーキング・軽い体操」(図表5・6)、2位は「器具を使ったトレーニング」であった。中高齢であってもできる活動、自宅もしくは近隣でできる活動が行動者率が高い傾向にある。

● 「学習・自己啓発・訓練」の行動者率1位の活動

図3 男性「商業実務・ビジネス関係」の行動者率

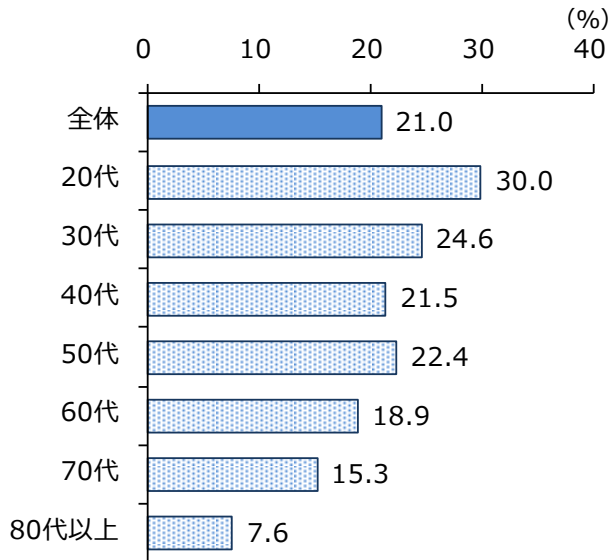
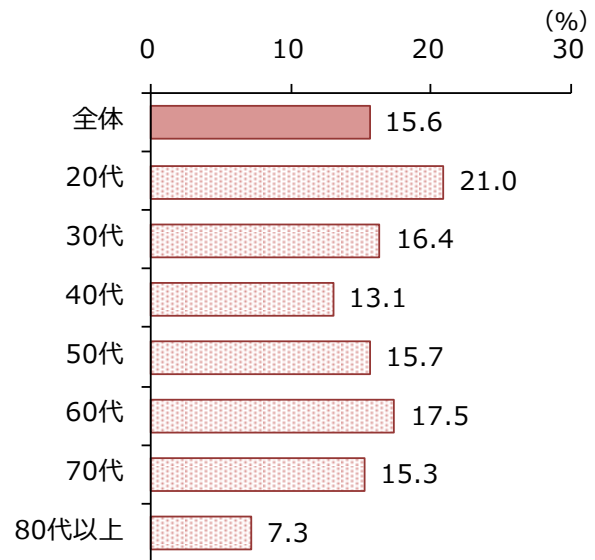
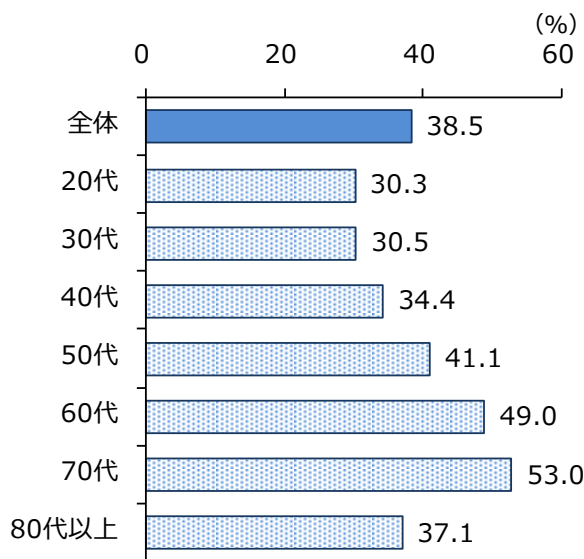


図4 女性「家政・家事」の行動者率

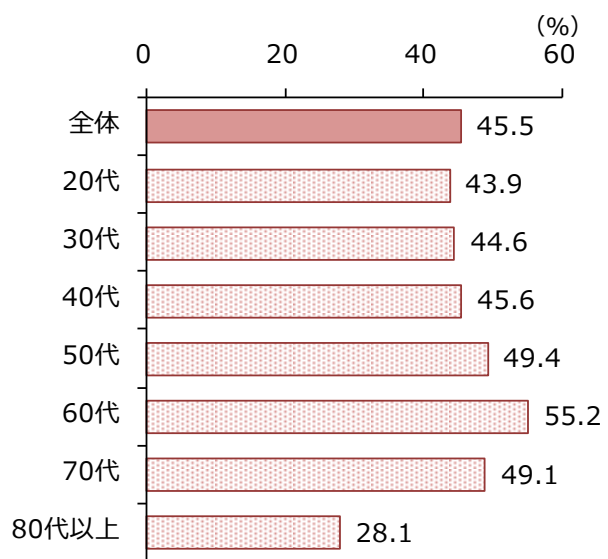


● 「スポーツ」の行動者率1位の活動

図表5 男性「ウォーキング・軽い体操」の行動者率



図表6 女性「ウォーキング・軽い体操」の行動者率



3) 趣味・娯楽

スポーツと同じく、男女で行動者率の上位1・2位が共通しており、1位は「映画館以外での映画鑑賞」、2位は「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」であった。ただし、趣味・娯楽に関しては、男女別、年代別に行動者率に大きな差があったため、上位15位までを図表7・8に示している。

図表7 男性の「趣味・娯楽」の行動者率上位15位

単位：%	全体	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
映画館以外での映画鑑賞	51.8	67.7	60.1	59.8	55.8	43.6	31.3	19.5
CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	48.7	76.3	65.3	57.9	50.1	30.4	16.6	8.3
テレビゲーム・パソコンゲーム	38.5	69.5	61.1	49.6	26.2	15.2	9.9	4.9
映画館での映画鑑賞	35.0	58.2	40.9	37.2	33.6	25.6	15.9	5.9
趣味としての読書	34.5	39.0	34.0	35.0	36.3	34.7	31.1	24.3
カラオケ	30.9	56.2	34.8	29.5	26.4	22.2	20.5	12.1
遊園地、動植物園、水族館などの見物	28.8	34.9	45.0	37.2	24.0	21.5	17.1	7.2
スポーツ観覧(※)	25.2	30.2	27.4	30.4	26.9	20.7	17.0	8.4
写真の撮影・プリント	22.3	20.8	26.0	25.8	24.6	22.4	19.6	10.7
園芸・庭いじり・ガーデニング	20.7	4.3	11.6	16.5	23.8	33.8	37.8	30.0
日曜大工	18.5	7.6	15.9	18.6	22.3	26.4	25.7	15.6
美術鑑賞(※)	16.1	16.1	14.5	14.6	19.7	19.3	17.9	9.2
パチンコ	14.7	16.6	19.6	18.4	16.8	15.9	9.2	3.4
音楽会などによるポピュラー音楽・歌謡曲鑑賞	10.0	11.8	10.3	9.5	11.5	10.2	8.4	5.0
演芸・演劇・舞踊鑑賞(※)	9.6	9.8	7.9	8.9	10.5	11.5	10.0	6.6

※が付いているものは、テレビ・スマートフォン・パソコンなどによるものを除く

図表8 女性の「趣味・娯楽」の行動者率上位15位

単位：%	全体	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
映画館以外での映画鑑賞	50.9	74.8	65.9	63.5	56.9	40.6	26.4	13.0
CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	47.9	83.4	71.7	63.8	51.2	27.3	13.0	4.9
趣味としての読書	41.8	45.3	45.4	48.5	47.9	42.0	33.5	19.1
映画館での映画鑑賞	40.7	69.5	50.5	50.0	43.3	30.1	17.6	5.0
遊園地、動植物園、水族館などの見物	36.7	59.2	61.3	44.3	32.1	28.9	17.2	5.3
園芸・庭いじり・ガーデニング	32.3	8.2	23.9	30.7	40.4	50.7	45.4	28.2
カラオケ	29.9	62.3	37.8	30.9	24.7	17.6	15.5	9.0
テレビゲーム・パソコンゲーム	29.6	55.2	48.7	41.6	28.1	12.7	5.6	1.4
写真の撮影・プリント	27.9	45.6	49.4	37.5	27.0	17.0	8.1	2.2
趣味としての料理・菓子作り	27.7	44.4	38.8	32.4	26.8	21.6	14.7	6.1
美術鑑賞(※)	22.8	26.7	22.7	23.8	29.0	26.8	19.3	7.6
編み物・手芸	19.5	15.1	21.4	19.9	18.9	25.2	20.2	12.9
演芸・演劇・舞踊鑑賞(※)	19.3	22.7	17.8	19.0	21.8	21.8	18.5	8.7
音楽会などによるポピュラー音楽・歌謡曲鑑賞	17.4	22.7	18.5	19.2	20.7	17.1	13.4	5.4
スポーツ観覧(※)	17.0	24.8	20.8	25.6	18.0	11.9	7.9	3.0

※が付いているものは、テレビ・スマートフォン・パソコンなどによるものを除く

4) ボランティア活動

男性で最も行動者率が高かったのは「まちづくりのための活動」である（図表 9）。次点は「子供を対象とした活動」であった。女性は、男性と 1 位 2 位が入れ替わった形であり、1 位が「子どもを対象とした活動」（図表 10）、2 位が「まちづくりのための活動」であった。

5) 旅行・行楽

男性は「旅行」の方が「行楽」よりも行動者率が高く、女性は「行楽」の方が「旅行」よりも行動者率が高いが、その差は非常に小さく、「旅行」と「行楽」の行動者率にはほぼ差が無いと考えて良い。女性は男性よりも「行楽」を好むといった傾向があるわけではない。

● 「ボランティア活動」の行動者率 1 位の活動

図 9 男性「まちづくりのための活動」の行動者率

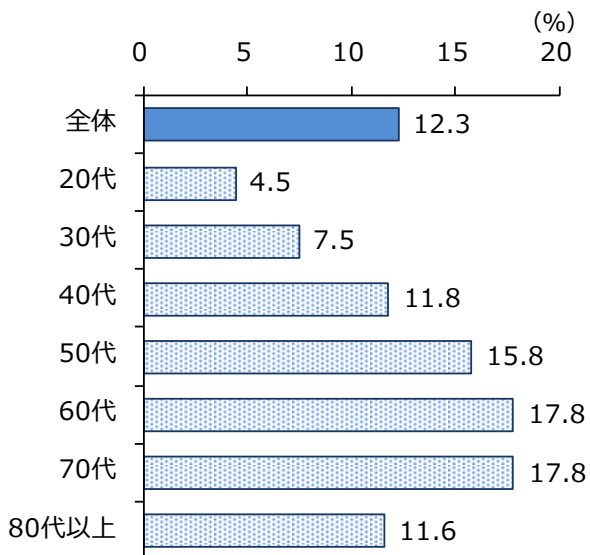
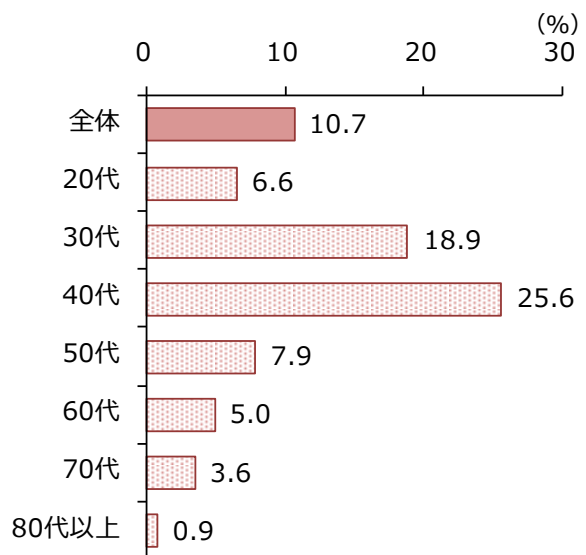


図 10 女性「子供を対象とした活動」の行動者率



● 「旅行・行楽」の行動者率 1 位の活動

図 11 男性「旅行（1泊2日）」の行動者率

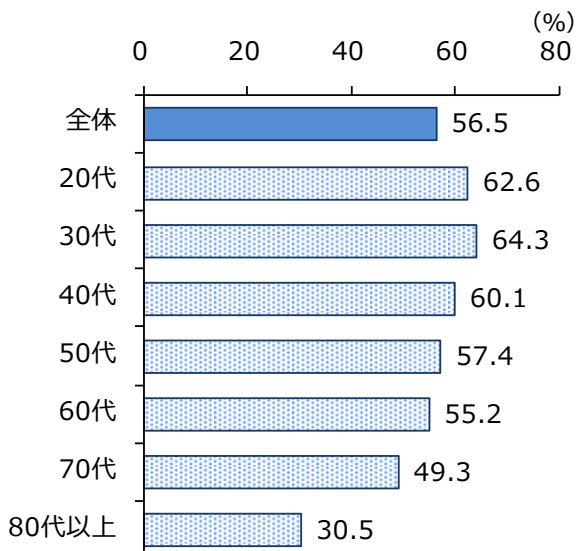
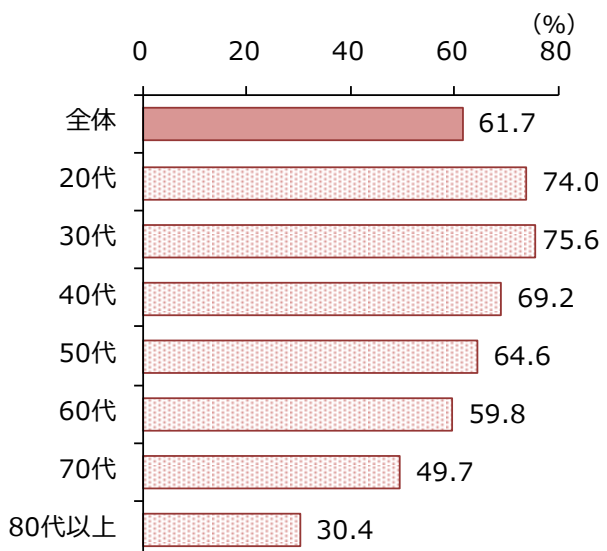


図 12 女性「行楽（日帰り）」の行動者率



4. まとめ

本レポートでは社会生活基本調査のデータから、生活者の自由時間等における主な活動を把握した。社会生活基本調査の分類でいえば、「スポーツ」「趣味・娯楽」「旅行・行楽」に属する活動の行動者率が高く、「学習・自己啓発・訓練」「ボランティア活動」の行動者率はそれらに比較すると低い傾向があることがわかった。また、「学習・自己啓発・訓練」「趣味・娯楽」に属する活動については、性別・年代の違いによる行動者率の差が大きいため、これらに含まれるような活動を組合員活動として企画する場合には対象者を明確にする必要がある。

生協で企画する組合員活動には「学習・自己啓発・訓練」「ボランティア活動」に含まれるような活動があるが、それらの行動者率は本来的に高いものではない。参加の間口を広げるという意味では「スポーツ」「趣味・娯楽」「旅行・行楽」に含まれるような、参加者本人が楽しむ要素が強い活動を企画していくことも重要である。入口となる活動については、参加者自身が楽しめることを重視した上で、理念的な部分（例えば、社会的責任、他人への配慮といった価値観）については気づきを与える程度に抑えるといった工夫も必要になる。そうした“楽しい”入口の活動を経験することで、徐々に「学習・自己啓発・訓練」「ボランティア活動」に含まれるような理念的な要素が強い活動への参加が期待できるようになるのではないだろうか。

生協の組合員活動は非常に多様である。その多様性を活かすために、それぞれの組合員活動を別個に打ち出していくのではなく、組合せとして組合員に提示していくような取り組みを期待したい。

【注】本レポートで使用したデータについて

平成 28 年度社会生活基本調査、生活行動（全国、調査票 A）

「学習・自己啓発・訓練」：第 1-8 表 男女、ふだんの就業状態、ふだんの健康状態、頻度、年齢、学習・自己啓発・訓練の種類別行動者数（15 歳以上）－全国

「スポーツ」：第 14-4 表 男女、ふだんの就業状態、ふだんの健康状態、頻度、年齢、スポーツの種類別行動者数（15 歳以上）－全国

「趣味・娯楽」：第 28-4 表 男女、ふだんの就業状態、ふだんの健康状態、頻度、年齢、趣味・娯楽の種類別行動者数（15 歳以上）－全国

「ボランティア活動」：第 42-1 表 男女、ふだんの就業状態、ふだんの健康状態、頻度、年齢、ボランティア活動の種類別行動者数（15 歳以上）－全国

「旅行・行楽」：第 55-5 表 男女、ふだんの就業状態、ふだんの健康状態、頻度、年齢、旅行・行楽の種類別行動者数（15 歳以上）－全国

本件に関するお問い合わせは、当研究所研究員 宮崎達郎までお願いいたします。

Tel : 03-5216-6025

Mail : tatsurou.miyazaki@jccu.coop

- ・本資料は個人の見解を示したものであり、研究所の見解を代表するものではありません。
- ・本資料は作成時点で当研究所が一般に信頼できると思われた情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性および完全性を保障するものではありません。
- ・内容につきましては、社会情勢の変化等を踏まえて、変更される場合があります。